

FIA ジャパン カンファレンス プログラム

*スケジュールは予告なく変更されることがあります。

7月25日（水曜日）

午後 3:00 受付開始

午後 3:45 日本の取引所プレゼンテーション（東証・大証・金融取・東工取）

司会：

ニューエッジ・ジャパン証券株式会社 代表取締役社長 久野 喜夫

取引所スピーカー：

株式会社東京金融取引所 常務執行役 伊藤 渡

株式会社東京工業品取引所 執行役 小野里 光博

株式会社東京証券取引所 常務執行役員 土本 清幸

株式会社大阪証券取引所 取締役 山澤 光太郎

取引システム・プロバイダー：

NASDAQ OMX 北アジア・日本 ジェネラル・マネージャー ウルフ・カールソン

NYSE Liffe 駐日代表 野元 宏志・NYSE テクノロジーズ MD 館谷 葉子

各取引所役員が、それぞれの取引所に関する新たな事業展開やシステム計画、市場利用者のための新たな商品と取引機会、あるいはコロケーション・サービスも含めた国内外からの市場アクセスなどについてご紹介します。また、NASDAQ OMX と NYSE LIFFE が日本の取引所向けに準備している取引システムに関する話題も併せてご紹介します。

午後 6:00 カクテルパーティー：基調講演 金融大臣 松下忠洋

基調講演：内閣府特命担当大臣（金融） 松下 忠洋

開会の辞および紹介：株式会社東京金融取引所 代表取締役社長 太田 省三

日本の金融監督機関のトップが、総合取引所の開始、日本の金融市場、そしてアジア地域における日本市場の重要性を高めるためのプランなどについて語ります。

7月26日（木曜日）

午前 8:00 受付・展示開始

午前 9:00 FIA ジャパン開会のご挨拶

スピーカー：

FIA ジャパン会長 ミッチ・フルシャー

会議議長：株式会社東京金融取引所 代表取締役社長 太田 省三

午前 9:10 基調講演 日本銀行総裁

基調講演：日本銀行 総裁 白川 方明

紹介：FIA ジャパン 会長 ミッチ・フルシャー

日本銀行の白川正明総裁が、日本の経済情勢、欧州危機の終結への挑戦、世界経済動向などを総括します。また、2011年に起きた津波や原子力発電所事故などに日本がどのように立ち向かうかについても語ります。

午前 9:45 日本の取引所市場：東証、大証、金融取、東工取 – 統合、連携、国際化戦略

司会：

FIA ジャパン 会長 ミッチ・フルシャー

スピーカー：

株式会社東京工業品取引所 代表執行役社長 江崎 格

株式会社東京金融取引所 代表取締役社長 太田 省三

株式会社東京証券取引所 代表執行役社長 斉藤 惇

株式会社大阪証券取引所 取締役 山澤 光太郎

動き始めた日本の取引所。マーケット関係者は昨年、東京証券取引所と大阪証券取引所の合併声明に驚かされました。この合併は、総合取引所を作り、アジアにおける日本の金融市場の地位を成長させようとする政府全体のマニフェストに沿ったものです。東京金融取引所と東京工業品取引所もそれぞれの成長と商品の拡大を計画しています。各取引所トップたちが、新たな国際戦略について語り合います。

午前 10:45 富士通ネットワークキング・ブレイク（休憩）

午前 11:15 規制改革：金融庁（FSA）、経済産業省（METI）

司会：

JP モルガン証券株式会社 マネジング ディレクター ピーター・イエガー

スピーカー：

経済産業省 商務流通審議官 豊永厚志

金融庁 総務企画局 審議官（企画・市場担当）池田 唯一

日本政府は、金融市場の法制度について、デリバティブ市場を分断してきた縦割りの解消も含めて改革することを明らかにしています。今回、金融庁は総合取引所に関する法改正を含む規制当局の協力と改革に向けた計画と行動について、経済産業省は店頭取引と取引所取引の両方を含む日本の商品市場の近代化と国際化についての概要を語ります。

午後 12:00 日本とアジアの代替取引システム

司会：

モルガン・スタンレーMUFG 証券会社 マネーjing ディレクター ジェイ・サブスフォード

スピーカー：

チャイエックス・ジャパン株式会社 代表取締役社長 浜欠 康生

SBI ジャパンネクスト証券株式会社 Co-CEO Chuck Chon

代替取引システムとプラットフォームは、欧州と北米の取引所制度にとって課題となっています。それは今や日本でも

同様であり、注目されつつあります。チャイエックス・ジャパンとSBIネクストのCEO2人が、その戦略と課題を語り合います。

午後 12:30 昼食

午後 1:30 日本から海外へ、海外から日本へのビジネスの発展

司会：

日産センチュリー証券株式会社 代表取締役会長 茂木 八洲男

スピーカー：

クレディ・スイス証券株式会社 ディレクター 株式会社本部 リステッド・デリバティブ部長 小西 庸介

ドットコモディティ株式会社 取締役会長 車田 直昭

イービーエヌ・アムロ・クリアリング証券株式会社 営業部長 中村 愛

日本の現物およびデリバティブ市場ではこれまで、海外から日本へのビジネスが発展してきました。最近では、海外市場を使いたいという日本の顧客たちによって、日本から海外へのビジネスに対する関心も高まっています。しかし日本で、国際取引を取り扱う準備が整っているのは僅か数社しかありません。今、国内のブローカーもそうした国際的なサービスのために2国間交渉、法制度、リスク管理などの準備を模索しています。このパネルディスカッションでは、国内および海外ブローカーたちが、その方策を探ります。

午後 2:10 アジアに影響を与える外圧

司会：

エコノミスト・グループ ディレクター ダン・スレイター

スピーカー：

CMEグループ アジア・パシフィック代表 マネージング・ディレクター ジュリアン・ルノーブル

デービス・ポーク東京 パートナー セオドア・パラダイス

シンガポール取引所 デリバティブズ部門代表 マイケル・シン

- ・ユーロ危機
- ・ドット・フランク法の混乱—治外法権の範囲
- ・世界の取引所—国境を超えた拡大

アジア以外の世界の金融市場には今、大きな変化が見られます。アジア経済もマーケットもこれらの変化に大きく影響されます。ヨーロッパ危機はアジアに不吉な前兆であり、Dodd-Frank と MiFID 規制は、その国のみならず、様々な国々にも影響をおよぼすという意味で非常に大きな挑戦と疑念を生みつつあります。その間、主要な国際取引所は、国境を超えた合併や同盟を含む拡大戦略を推し進めています。こうした海外の変化がアジア市場にどのような意味をもつのでしょうか？パネルでは、これらの変化についての高度な分析と、日本とアジア市場への影響についての評価を提供します。

午後 3:30 富士通ネットワークング・ブレイク（休憩）

午後 4:00 店頭市場と清算～日本とアジア

司会：

ゴールドマンサックス マネージング・ディレクター ポール・デイビス

スピーカー：

バークレイズ・キャピタル プライム・サービス ディレクター ジェームス・シャ
株式会社日本証券クリアリング機構 企画部長 兼 OTCデリバティブ業務推進室長 平野 剛
シンガポール取引所 セールス顧客部門副代表 ラマ・ピライ

店頭商品市場は、FXを含む金融デリバティブ市場と同様に、アジア、とりわけ東京、香港、シンガポールではメジャーな市場です。米国やヨーロッパにおけるこれらの市場が組織化された CCPs に向かう動きはアジアでも始まっています。このパネルディスカッションでは、清算会社や清算ブローカーが、これらの変化と挑戦について語り合います。

午後 5:00 ハイフリクエンシー・トレーダーとヘッジファンドの見通し：アジアに対する計画と要望

司会：

エクイニクス グローバル・フィナンシャル・サービス ディレクター スチュワート・オレル

スピーカー：

RGM アドバイザーズ アジア・パシフィック・マーケット・ディレクター エリック・ドレイ
インタラクティブ・データ 7 ticks 取引ソリューションズ プレジデント エマニュエル・ドゥ

ハイフリクエンシー・トレーダーやヘッジファンド及び他のマネーマネージャーたちを含む法人の市場利用者たちは、アジアでの活動拡大をにらんでいます。規制問題に加えて、彼らの主な関心事は、取引所システム、コロケーション・サービス、税金、リスク管理、清算、資金の分別などです。市場利用者たちが参加するこのパネルディスカッションでは、かれらの計画を語り合い、アジア市場に彼らが何を求めているかも取り上げます。

午後 5:30 成長する FX 市場

司会：

BNPパリバ証券株式会社 フィクストインカム 電子市場ヘッド イーアン・ウィリアムズ

スピーカー：

株式会社東京金融取引所 市場部長 山下 伸一

EBS ディーリング・リソース・ジャパン (株) リージョナル・セールス・マネジャー 大木 一寛
スマート・トレード・テクノロジーズ アジア・パシフィック・ビジネス・ディベロップメント ヘッド 内海 玄

東京はアジア最大、そして世界でもニューヨーク、ロンドンについて 3 番目に大きな FX 取引の中心地です。主要な国際プレーヤーたちが今、東京ハブへのシステム強化に投資を進めており、新たな FX の拠点ができつつあります。6 月、中国と日本は日本円/人民元の東京市場での直接取引を開始しました。そして、東京は金融商品についてもロンドンと並ぶオフショア人民元市場になるとも信じられています。一方で、香港、シンガポールもまた、東京に続き国際的には 4 番目のアジアにおける主要 FX 取引センターです。このパネルディスカッションでは、これらの変化と日本とアジアにおける FX 取引の将来を語り合います。

午後 6:15 カクテル・パーティー&基調講演 JP モルガン証券 イエスパー・コール

基調講演：JP モルガン証券株式会社 マネジング ディレクター、株式調査部長 イエスパー・コール